

令和5年実施 町政懇談会の記録 (01防災)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課等	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
横田	5月17日	01防災	防災行政無線	横田の大谷川沿いの住宅では、防災行政無線が聞き取れない地区があるので、対応してほしい。大溝地区の防災行政無線の方が聞こえる。	危機管理課	スマートフォンなどに防災行政無線の内容をプッシュ型で配信できるシステムを構築しているため、利用いただきたい。 また、防災行政無線は、地区単位ではなく、町内全域の広範囲に聞こえるように設計している。全ての方に個別放送を完全に受信していただくのは難しいが、現状を調査し可能な限り対応していく。 防災行政無線設備のアンテナ増設や出力拡大等についての対応を検討するが、設備改修には限界があるため、ソフト面での対応についても協力をいただきたい。
横田	5月17日	01防災	防犯パトロール	年末の青色防犯パトロールは、コースが決められていて意味がない。自分の地域とかそれぞれの場所を回るのはどうか。	社会教育課	年末年始は、出発式があるためコースが決まっている。基本的に、青色防犯パトロールはボランティアのため、各個人で回ることができるように極力負担にならないようにしている。
昌農内	5月23日	01防災	自主防災	自主防災組織活動育成補助金を上限3万円を10万円にして、参加者1人あたりの算出額を100円から300円にしていきたい。	危機管理課	自主防災組織活動育成補助金は、訓練補助金の意味合いがあり、訓練参加人数の実績を考えてみても、当面現状維持とする。
昌農内	5月23日	01防災	自主防災	貸与資器材の予算を一時的にも増額していただき、早急に地域に必要な防災資機材が整備できるように要望したい。	危機管理課	防災資器材については、購入してから10年が経過していることもあり、使用できない物も想定されることから、各自主防災組織に聞き取りを行い来年度当初に予算を確保していく。
昌農内	5月23日	01防災	自主防災	指定避難所における自主防災組織の地区の割当てを松前町主導で調整していただきたい。	危機管理課	指定避難所では、避難所で集まった方で避難所運営をしてもらうため各地区の自主防災組織の地区の割当ては考えていない。
上高柳	5月31日	01防災	指定避難所	第7分団所詰所が指定避難所の看板が外されたが、指定避難所ではなくなったのか。	危機管理課	松前町は、元々指定避難所として指定していない。誤解を招くので取り外している。
上高柳	5月31日	01防災	指定避難所	白鶴保育所を指定避難所としてほしい。	危機管理課	今後の検討課題とする。
塩屋	6月28日	01防災	塩屋遊水池のポンプ	遊水池のポンプを作るのではなく、ブルドーザーで河床掘削してはどうか。	まちづくり課	重信川の河床掘削については、管理者である国土交通省が行っている。遊水池については、地域に大雨が降った際、浸水軽減を図るため、雨水を一度、プールし、その溜まった雨水を排除する機能としてポンプ施設を計画している。
塩屋	6月28日	01防災	塩屋遊水池のポンプ	塩屋遊水池ポンプ工事のスケジュールを教えてください。	まちづくり課	令和7年度末完成を予定している。
塩屋	6月28日	01防災	浸水地区対応	浸水地区の家が浸水しない対策はないか。	危機管理課	地上げする方法しかないが、浸水地区の場合は、避難する方法を考えていただきたい。
西古泉	6月29日	01防災	消防詰所	新しい消防詰所ができるが、既存の放送設備はなくなるのか。	危機管理課	既存の防災行政無線は残る。

令和5年実施 町政懇談会の記録 (01防災)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課等	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
鶴吉	7月3日	01防災	水路	道後平野9号幹線水路の排水については「伊予市が3トン、松前町が2トンを受け持つ排水量の取り決め」があるにもかかわらず、上流の伊予市は多量の水を下に流している。大雨時、三軒屋水路は常に溢れそうで危険である。地域間の話し合いではまとまらない為、行政間で協議をし、適正な排水量で管理をするよう伊予市に言ってもらいたい。	まちづくり課	三軒屋水路は10数年前、JR車両基地関連事業として鶴吉地区と協議しながら水路改修を行った。以降、適正な管理の下被害や支障を来すこともなく、整備の効果があったと認識している。「上流のゲートの管理」については、機会を見て伊予市と協議をするが、施設の整備は完了し、効果が得られたことは御理解願いたい。 現地確認し、区長に報告する。
鶴吉	7月3日	01防災	防災行政無線	鶴吉の防災無線が2箇所あるが、東の方の三軒屋地区が聞こえない。	危機管理課	現場確認をする。今後、個別受信できないか研究する。
東古泉	7月7日	01防災	個別避難計画	個別避難計画の現在の取組状況について教えてほしい。	福祉課	あまり進んでいないのが現状である。作成主体は町であるが、避難する方の実情などを知っている地域の協力が必要と考えている。 令和5年11月以降、避難支援関係者との協議や個別避難計画作成手順の説明会の開催を開催し、各行政区内の個別避難計画作成の促進を図る。
中川原	7月10日	01防災	防災行政無線	防災行政無線を利用して、夕方定期的にチャイム放送を流して、子供の帰宅を促してはどうか。	危機管理課	チャイム放送を鳴らしたほうがよいという反面、それに対して反発もあり採用していない。今後、チャイム放送を鳴らしたほうがよいという声がほかの地域からも上がってくれば検討する。
北黒田	7月13日	01防災	防災行政無線	防災行政無線が聞きとりづらい。	危機管理課	無線は万能ではなく、建てる場所、風向き、湿度など影響を受ける。そのため、防災行政無線の内容を電話で聞き取りができたり、スマートフォンなどにプッシュ型で配信できるシステムを構築している。聞き取れない要望があった場所は、現地確認をしているが、対応にも限界がある。今後、個別受信できないか研究する。
新立	7月20日	01防災	防災行政無線	防災行政無線が聞きとりづらい。	危機管理課	防災行政無線の内容を電話で聞き取りができたり、スマートフォンなどにプッシュ型で配信できるシステムを構築している。聞き取れない要望があった場所は、現地確認する。 現地確認を行うため、新立区長に要望者の日程について調整を依頼中。(8/31時点)